

# I

## 学部教育の理念と目標

---

- 学部教育の理念と目標

# 学部教育の理念と目標

## ー理学部の学生へのメッセージー

理学部長 ● 林 政彦

私たち人類は、古から大地を踏みしめ、山を見上げ、白い雲がたなびく青空を眺めて生きてきました。大地には草木が生い茂り、鳥は空を舞い、動物は原野を駆け抜けています。人類は、自然から衣・食・住の糧を受け取り、様々なものを作り出し、社会活動、人としての生活を営んでいます。このような自然、社会は、そのあり様を時々刻々と変化させています。複雑で豊かで尽きることがありません。

人々は豊かな生活を求め、自然、社会、人の仕組みを理解し、その仕組みを技術として、社会活動の中に活かしています。そして、自然を利用するために、無意識に自然の仕組みを理解する営みを行ってきました。次第に、身の回りで起こる様々なことに対して「なぜ？」と問いかけ、その仕組みを理解することに関心をもち、喜びを感じるようになってきました。「Nature、自然」「World、世界」の“ことわり(理)”を“解き明かし”、それを体系的に組み立ててゆくこと、「理学」の始まりです。それは、常に、生活を豊かにしたいという人々の希望、様々な科学技術、社会活動への応用と結びついています。

福岡大学理学部は、このような自然科学と数理科学に関連する分野の探究を通して社会の健全な発展に貢献することを教育研究の理念としています。学生の皆さんには、既知の事実と理論を学びながら、自然現象や数理を幅広い視野から理解し、論理力、分析力、創造力を修得し、総合的な視野から知識の活用ができ、豊かな人間性、社会性及び国際性を兼ね備えた人となっていただきたいと考えています。仰々しい言葉を並べてしまいました。一言で言えば、それは、「身の回りの自然現象、社会現象に対して「なぜ？」という知的関心、疑問を発し、その仕組みを解き明かしてゆく力、それを伝える力を育てること」にほかなりません。

理学部における学修の中では、そのプロセスを学習の集大成としての卒業研究において経験をするようになります。卒業研究を充実したものとするために、共通教育において幅広い教養と人間性を育てていただくとともに、専門教育において、確かな知識と分析、解析、応用力を育てていただきたいと考えています。

そのため、専門教育のカリキュラム編成にあたっては

1、2年次には、初年次教育、少人数クラスの講義、実習や演習およびゼミナール等によって自然科学全般にわたる基礎学力と思考力を養い、豊かな人間性、社会性および国際性を身につけることができる科目を配置しています。

3、4年次には、この基礎学力に加えて、多様な専門分野から学生自ら選択した分野について学び、自然現象等を幅広い視野から理解し、現象を解明し、伝える力を習得できる科目を配置しています。

実験、実習、演習を重視しつつ、講義、ゼミナール等、様々な学習形態の授業を準備しています。学習の基本となる大学での学習方法や基礎学力を習得し、これまでの人類の探究活動の成果である自然に対する基礎的な理解を広い領域について学ぶとともに、専門的な領域について深く学んでください。そして、卒業研究では、自分自身の「なぜ？」を発し、解き明かし、伝えてゆくことを経験してください。そのために、この学修ガイドやシラバスを参考に、計画的な学修を行ってください。

充実した4年間を過ごしていただくことを期待しています。